



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <http://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部長 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	9,014	4.6	1,411	△4.0	1,406	0.1	977	△0.1
29年12月期第3四半期	8,619	8.8	1,470	3.7	1,404	9.9	978	14.0

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 972百万円(△2.3%) 29年12月期第3四半期 995百万円(46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	71.37	—
29年12月期第3四半期	74.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	17,721	9,570	54.0
29年12月期	15,657	7,934	50.7

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 9,570百万円 29年12月期 7,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年12月期	—	15.00	—		
30年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,284	4.9	1,935	3.7	1,877	5.9	1,298	4.2	94.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期3Q	13,868,500株	29年12月期	13,098,000株
30年12月期3Q	537株	29年12月期	537株
30年12月期3Q	13,701,445株	29年12月期3Q	13,097,463株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)	増減額(増減率)	
売上高(千円)	8,619,134	9,014,697	395,562	(4.6%)
営業利益(千円)	1,470,327	1,411,513	△58,813	(△4.0%)
経常利益(千円)	1,404,203	1,406,079	1,875	(0.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	978,440	977,930	△510	(△0.1%)
保有基数(9月末時点)	7,198基	7,537基	339基	(4.7%)
稼働率(9ヶ月平均)	74.4%	78.4%	4.0%	

為替レート	¥112.23/US\$	¥109.56/US\$	△¥2.67/US\$
-------	--------------	--------------	-------------

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害等の影響により輸出や生産が弱含んでいるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費の回復基調が続きました。わが国の貿易については、輸入を中心に引き続き対前年比で増加傾向にあり、特に中国、アジア諸国との輸出及び輸入については好調を持続しております。

海外経済においては、米国を中心に総じて底堅く推移したものの、米中の貿易摩擦問題や欧州の政治情勢による不確実性、中東地域における地政学的リスクの高まりなど、依然として様々な景気減速リスクが内在しており、その先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況にも関わらず、当社においては、タンクコンテナ保有基数を積極的に増強し、海外ネットワークを駆使して、輸送量の増加とタンクコンテナオペレーション効率(稼働率)の向上を実現しました。9月の台風21号による神戸港六甲アイランドコンテナターミナルの被害により、阪神地区の国内物流が一時混乱したことで、当社で引き受ける貨物量(主に輸出)も影響を受けたものの、当期間においては特に日本・アジア間の輸出・輸入取引で前年を大きく上回る実績をあげたこと、当社の自社物流施設を活用した国内輸送・保管等の売上也大幅に増加したこと、さらに新規事業であるガスタンクコンテナ事業の売上を159百万円まで着実に伸ばした(前年同期は7百万円)ことなどにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年を上回る9,014百万円となりました。営業利益につきましては、上期にガスタンクコンテナ事業に係る初期投資費用の計上があり、営業利益を下振れさせたものの1,411百万円を確保しました。それにより経常利益は1,406百万円を確保するにいたりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は977百万円となりました。

ガスタンクコンテナ事業においては、顧客からのニーズも大きく、その顧客の期待に応えるべく積極的な展開で日々邁進しております。ケミカルタンクコンテナ事業に加えた第2の収益の柱として、今後さらに大きく発展していくものと確信しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,064百万円増加(13.2%増)し、17,721百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,609百万円増加(38.7%増)し、5,773百万円となりました。現金及び預金が1,413百万円、売掛金が54百万円、その他流動資産が140百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ454百万円増加(4.0%増)し、11,947百万円となりました。1月に阪神支店が完成したことに伴い建設仮勘定が232百万円減少したこと等により、その他(純額)が228百万円減少する一方、建物及び構築物(純額)が333百万円増加したことに加え、タンクコンテナ(純額)が270百万円、無形固定資産が66百万円、投資その他の資産が12百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少(0.7%減)し、3,308百万円となりました。短期借入金が90百万円、1年内返済予定の長期借入金が39百万円、賞与引当金が42百万円、その他流動負債が38百万円増加したものの、買掛金が83百万円、リース債務が7百万円、未払法人税等が136百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ451百万円増加(10.3%増)し、4,842百万円となりました。リース債務が369百万円、退職給付に係る負債9百万円、その他固定負債が68百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,636百万円増加(20.6%増)し、9,570百万円となりました。為替換算調整勘定が5百万円減少したものの、第三者割当による新株発行を実施したため、資本金および資本剰余金がそれぞれ534百万円増加したうえ、利益剰余金が573百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,492,516	3,906,417
売掛金	1,330,019	1,384,980
その他	342,575	483,437
貸倒引当金	△1,107	△994
流動資産合計	4,164,003	5,773,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,236,261	1,569,588
タンクコンテナ(純額)	6,890,769	7,161,359
土地	2,195,963	2,195,963
その他(純額)	745,984	517,185
有形固定資産合計	11,068,979	11,444,097
無形固定資産	229,527	295,816
投資その他の資産	194,980	207,866
固定資産合計	11,493,487	11,947,781
資産合計	15,657,490	17,721,621
負債の部		
流動負債		
買掛金	879,047	795,675
短期借入金	420,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	974,806	1,014,366
リース債務	422,056	414,987
未払法人税等	321,360	184,795
賞与引当金	29,512	71,537
株主優待引当金	6,725	—
その他	278,646	316,804
流動負債合計	3,332,154	3,308,165
固定負債		
長期借入金	2,869,132	2,873,654
リース債務	1,375,513	1,744,530
退職給付に係る負債	99,246	108,876
その他	47,088	115,822
固定負債合計	4,390,980	4,842,882
負債合計	7,723,135	8,151,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,440	1,134,781
資本剰余金	526,599	1,060,941
利益剰余金	6,748,346	7,321,795
自己株式	△384	△384
株主資本合計	7,875,001	9,517,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△707	△820
為替換算調整勘定	60,060	54,259
その他の包括利益累計額合計	59,353	53,438
純資産合計	7,934,354	9,570,572
負債純資産合計	15,657,490	17,721,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,619,134	9,014,697
売上原価	6,138,201	6,534,926
売上総利益	2,480,933	2,479,771
販売費及び一般管理費	1,010,605	1,068,258
営業利益	1,470,327	1,411,513
営業外収益		
受取利息	3,450	5,742
為替差益	—	12,205
受取家賃	5,347	5,120
受取保険金	11,764	14,045
受取補償金	3,965	172
補助金収入	1,341	2,018
その他	1,506	2,440
営業外収益合計	27,376	41,746
営業外費用		
支払利息	48,579	46,705
為替差損	28,307	—
その他	16,613	474
営業外費用合計	93,499	47,180
経常利益	1,404,203	1,406,079
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	4,639	1,798
特別損失合計	4,639	1,798
税金等調整前四半期純利益	1,399,563	1,404,290
法人税等	421,122	426,360
四半期純利益	978,440	977,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	978,440	977,930

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	978,440	977,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△113
為替換算調整勘定	16,700	△5,801
その他の包括利益合計	16,761	△5,914
四半期包括利益	995,202	972,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	995,202	972,015
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月1日付で、株式会社商船三井から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金および資本準備金がそれぞれ534百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,134百万円、資本剰余金が1,060百万円となっております。